

初期臨床研修Q & A

—初期臨床研修について—

Q. 救急研修について特徴はありますか？

A. 当院は救命救急センターを有する市中病院であり、1次、2次、3次全ての症例を幅広く経験できます。実際の臨床現場で気管挿管、胸骨圧迫、除細動、緊急薬剤使用、外傷初期診療、各種穿刺法(胸腔、腹腔、腰椎)、創傷処置(縫合・洗浄・局所麻酔)、骨折・脱臼・捻挫の固定などを上級医の指導のもと積極的に行っています。また、ICUでは専門医と一緒に集中管理を学ぶことができます。

Q. 救急科や日当直は忙しいですか？

A. 救急を含めて、忙しいのは事実です。ヒマではありませんが、その分経験症例数や経験手技数も多く、研修は充実しています。研修医は地域の救急医療を支える役割を担う重要な一員であり、日々経験と成長を積みながら切磋琢磨しています。加えて、無駄な忙しさや雑用がないよう研修医をバックアップし、ワークライフバランスを意識した体制を取っています。また年に2回、研修医の先生とヒアリング面談を行っています。

Q. 女性医師サポートはありますか？

A. 女性医師に対する育児支援があります。(短時間正規職員制度、時間外勤務免除・緩和、宿日直の免除・緩和、育児中医師の診療科増員など) また、同じ敷地内に院内保育所があります24時間対応です。(3歳児まで) 男性医師の利用も可能であり、育児等のサポートを行っております。

—病院見学・実習について—

Q. 見学はいつできますか？

A. 随時行っておりますので、「病院見学・実習のご案内」ページよりフォーマットに沿ってお申込ください。当院をより知っていただくため、原則各科1日1名程度としています。院内調整がつかない場合は、変更をお願いする場合がございます。

Q. 4年生以下の見学は実施していますか？

A. 特に制限は設けていませんので、4年生以下も見学申込していただけます。ただし5年生、6年生と重なってしまった場合は、優先的に6年生に見学していただくこととしています。

—採用試験について—

Q. 病院見学や実習に参加していないと、受験資格は得られませんか？

A. ミスマッチを防ぐためにも、当院を良く知っていただいた上でご応募いただきたいため、一日以上の見学もしくは実習を当院の受験資格としています。

Q. 見学は複数回行った方が有利ですか？

A. 見学は一回で結構です。複数回来ていただいても有利に取り扱うことはありませんが、いくつかの診療科を見学したい、病院の雰囲気をさらにつかみたい等、複数回の見学に随時対応しています。

Q. 地域枠入学者の学生の受け入れは可能ですか？

A. 当院は地域枠医師の「臨床研修病院」「専門医（後期）研修病院」「赴任先病院」の対象となっており、地域枠入学者の学生も受け入れ可能です。

Q. マッチング希望病院登録前に事前に内定通知など通知があるのでしょうか？

A. 事前の内定通知などは行っていません。コンピュータマッチングにより採用決定した方に、マッチング終了後、内定通知および仮契約書を送付します。

Q. 出身大学によって、採用に左右されますか？

A. 決まった大学からの採用枠は無く、出身大学（学閥）は全く関係ありません。また、公立・私立の別も全く関係ありません。

Q. 応募の際に記載した希望科と、初期研修修了時に希望する科が異なってしまった場合は？

A. 応募の際の希望診療科と、初期研修修了後に希望する科が一致しているケースも、違う科を選択するケースもあります。いずれの場合も充実した初期研修ができる体制作り而努力していますので、特に問題はございません。

—専門研修について—

Q. 初期研修医を修了し、後期研修医として継続研修することは可能ですか？

A. 当院は、プライマリケア能力の裾野が広く、かつ高い専門性を有する臨床医を初期後期一貫研修で育成することを社会貢献と考え、継続研修ができるような体制作りとなっています。現在、専門研修については内科や総合診療科をはじめすべての領域（リハビリテーション科を除く）で対応できる体制になっています。